

国立大学法人

名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

DATA BOOK

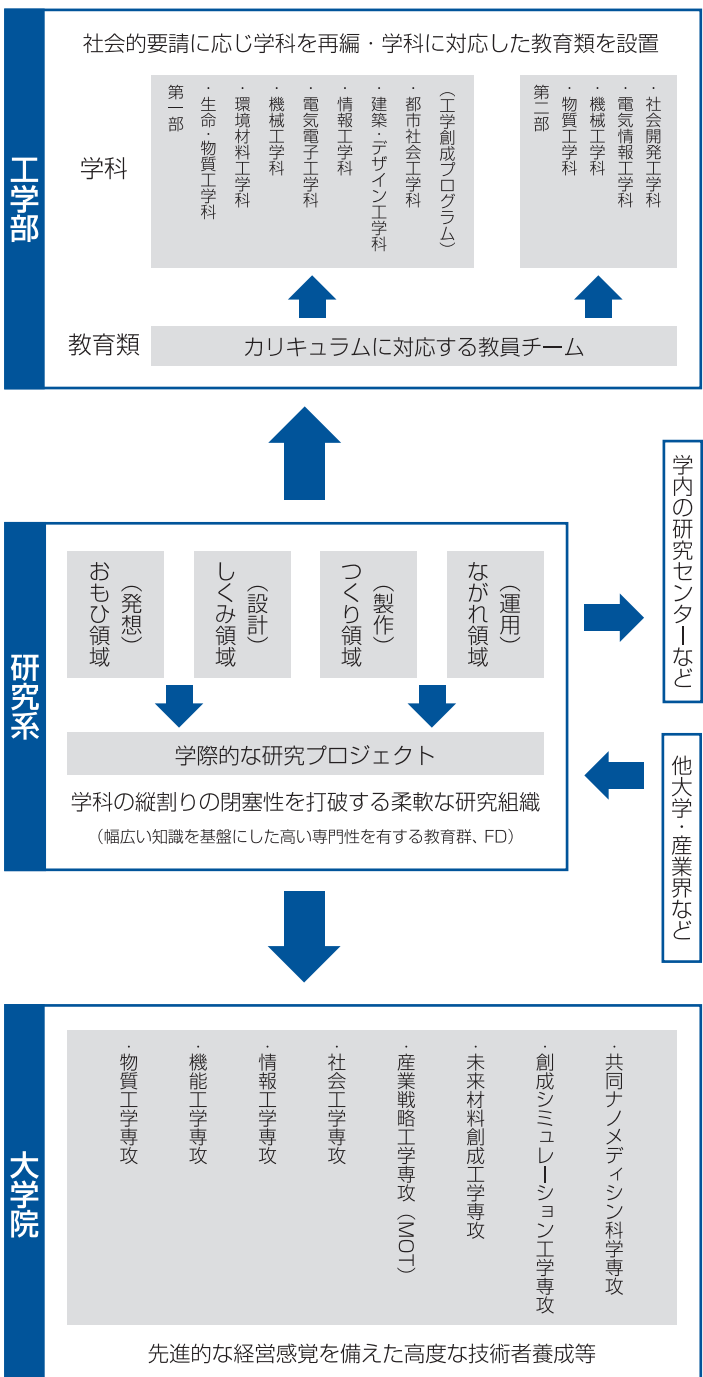
2015



教員組織

教員組織として「領域」を設置

従来の縦割り学問分野による学科組織から離れて、異分野の教員が交流する横断的、学際的な組織であり、研究系組織として大学院に置くものです。領域は、おもひ（発想すること）、しくみ（設計すること）、つくり（製作すること）、ながれ（運用すること）という四つの領域があります。各教員は、このいずれかの領域に所属し、教員同士が互いに刺激し合うことで、新たな学際的な研究プロジェクトがたちあがることを期待するものです。



100年にわたる伝統の上に新たな風を

明治38年3月28日 創設
名古屋高等工業学校

昭和18年2月16日 創設
愛知県立高等工業学校

昭和19年4月1日 改称
名古屋工業専門学校

昭和19年6月1日 改称
愛知県立工業専門学校

昭和24年5月31日
名古屋工業大学

平成16年4月1日
国立大学法人 名古屋工業大学

- 名古屋工業大学は、明治38年創設の名古屋高等工業学校と、昭和18年創設の愛知県立高等工業学校が合併し、昭和24年に新制大学として発足しました。
- 平成16年に「国立大学法人名古屋工業大学」として新たに発足しました。

第一部7学科、第二部4学科、 大学院8専攻の工学系の単科大学

工学部第一部

7学科

生命・物質工学科
環境材料工学科
機械工学科
電気電子工学科
情報工学科
建築・デザイン工学科
都市社会工学科
(工学創成プログラム)

大学院工学研究科

8専攻

物質工学専攻
機能工学専攻
情報工学専攻
社会工学専攻
産業戦略工学専攻
未来材料創成工学専攻
創成シミュレーション工学専攻
共同ナノメディシン科学専攻

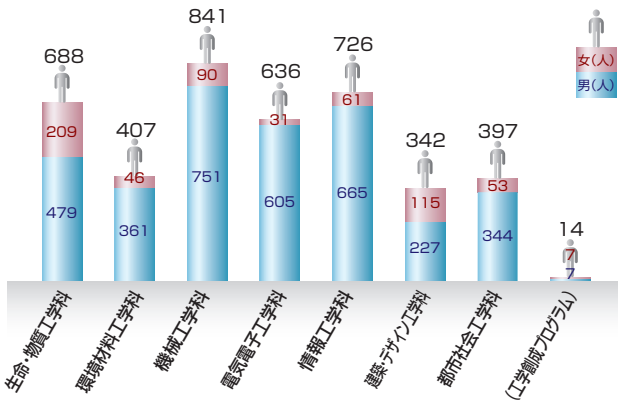
工学部第二部

4学科

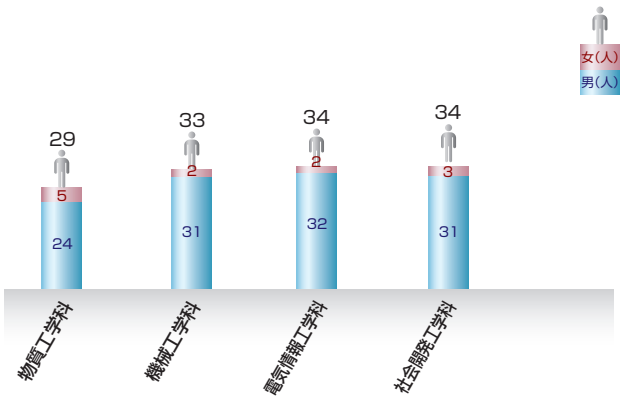
物質工学科
機械工学科
電気情報工学科
社会開発工学科

5,682人が在学中 そのうち約14%が女子

◆工学部(第一部) 計4,051人

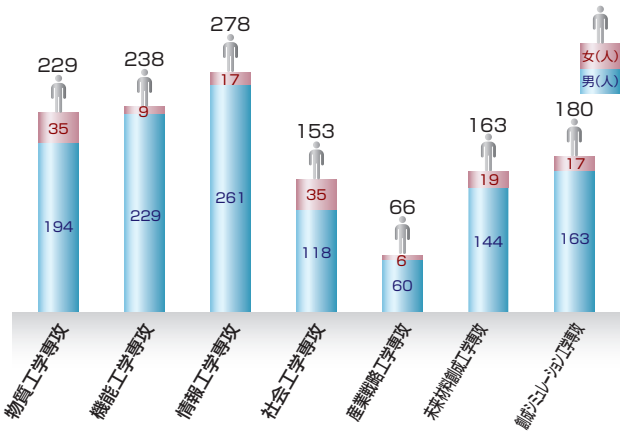


◆工学部(第二部) 計130人

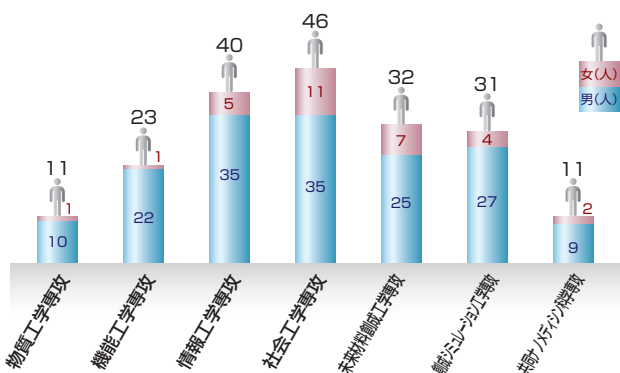


◆大学院工学研究科 計1,501人

博士前期課程 計1,307人



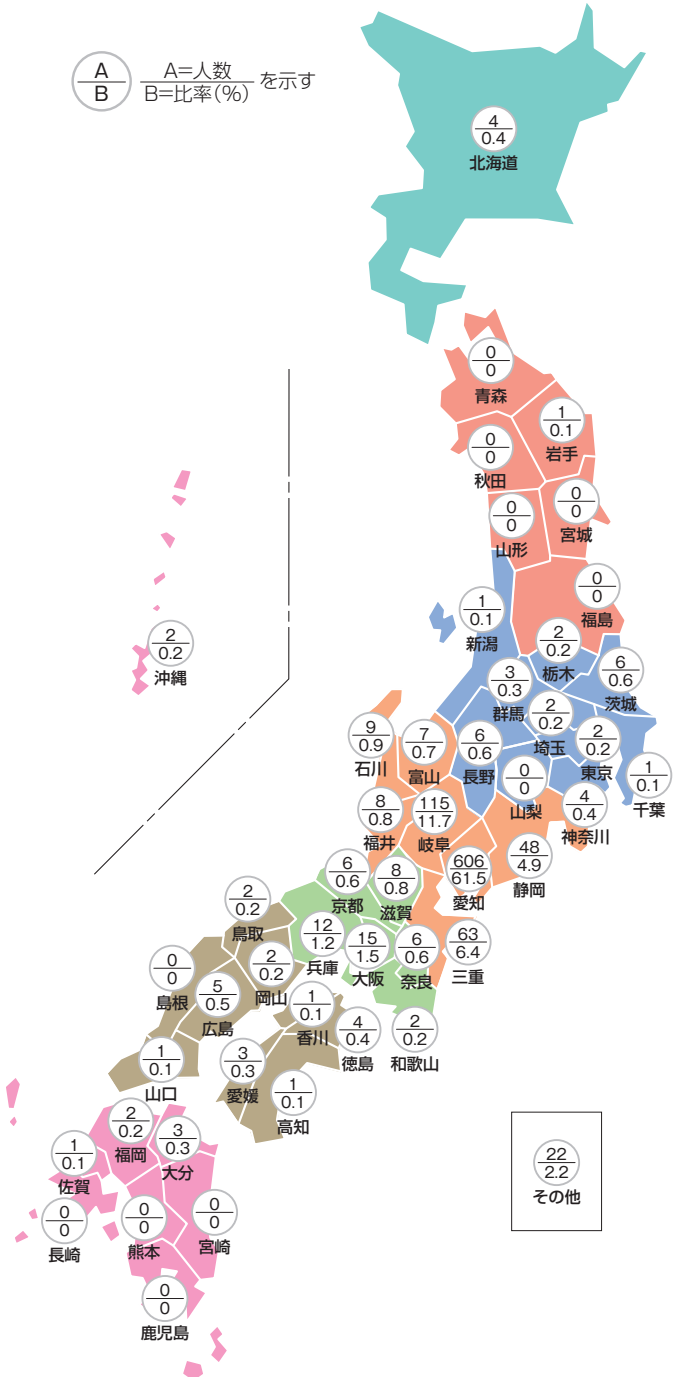
博士後期課程 計194人



入学者出身高校所在地

- 東海・北陸地区を中心に全国から学生が集まっています。
- 平成27年度入学者の場合、東海3県の出身割合は、第一部が79.5%、第二部が80.0%です。そのうち愛知県出身割合は、第一部が61.4%、第二部が64.0%です。

$\frac{A}{B}$ $\frac{A=人数}{B=比率(\%)}$ を示す



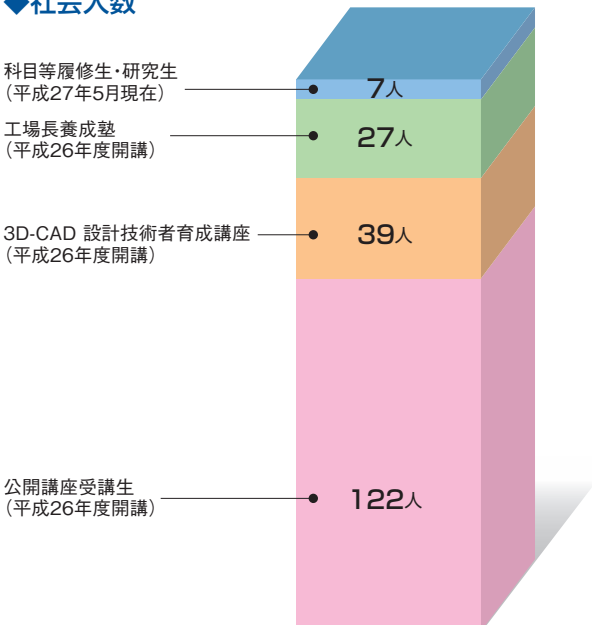
■平成27年度志願倍率は、第一部前期日程3.1倍、第一部後期日程8.0倍、第二部8.7倍、大学院博士前期課程1.5倍、大学院博士後期課程1.1倍となっています。

区 分		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
工 学 部 (第一部)	推薦	90	243 (102)	93 (30)	93 (30)
	AO入試	8	12 (6)	5 (4)	5 (4)
	前期日程	512	1,585 (240)	545 (70)	536 (66)
	後期日程	300	2,388 (334)	361 (53)	306 (46)
	私費外国人 留学生特別入試	若干名	147 (45)	38 (21)	11 (7)
	国費・政費	若干名	5 (2)	5 (2)	5 (2)
	日韓	若干名	5 (1)	5 (1)	5 (1)
工 学 部 (第二部)		20	173 (18)	28 (4)	25 (3)
大学院工学研究科 (博士前期課程)		586	858 (94)	695 (74)	656 (70)
大学院工学研究科 (博士後期課程)		42	46 (10)	45 (10)	43 (8)
合 計		1,558	5,462 (852)	1,820 (269)	1,685 (237)

注：() は、女子数を内数で示す。

様々な形で生涯学習を行っています

◆社会人数

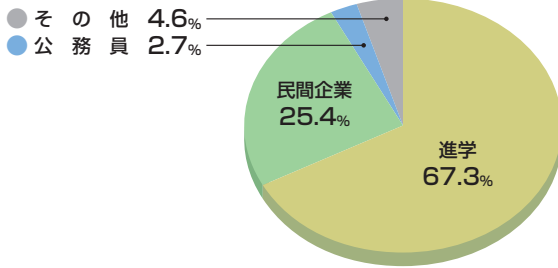


■博士前期課程、博士後期課程にも計100人の社会人が在籍しています。

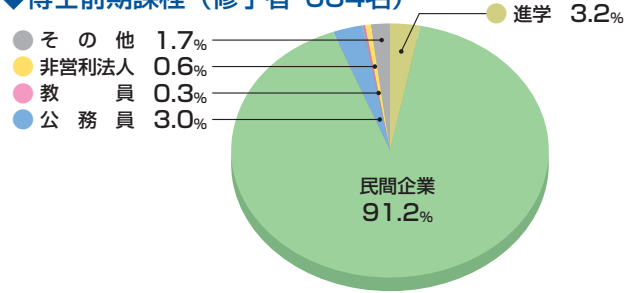
学部卒業者の67.3%が大学院へ

【学部・大学院別進路状況(平成26年度卒業・修了者)】

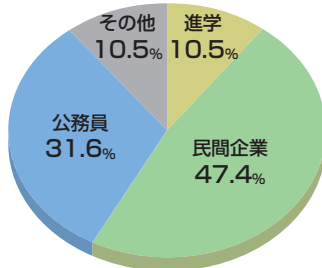
◆第一部 (卒業者 942名)



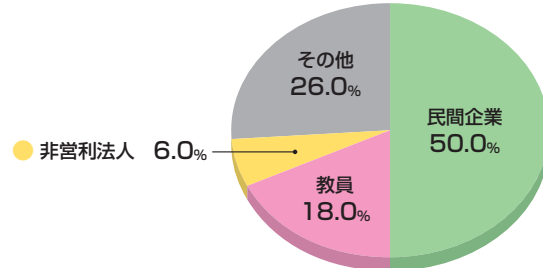
◆博士前期課程 (修了者 634名)



◆第二部 (卒業者 19名)



◆博士後期課程 (修了者 50名)



◆主な就職先

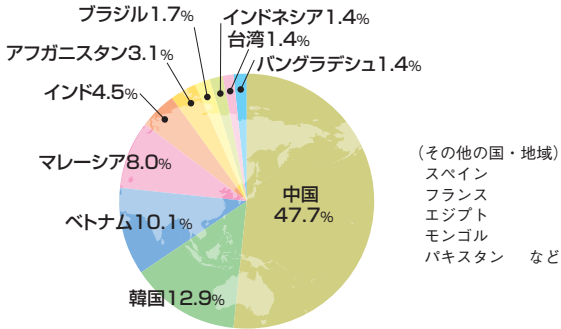
区分	学部 (一部・二部)		大学院博士課程 (前期・後期)	
産業界	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	10名	トヨタ自動車(株)	22名
	アイシン精機(株)	7名	(株)デンソー	20名
	スズキ(株)	4名	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	17名
	アビームシステムズ(株)	3名	アイシン精機(株)	17名
	川重岐阜エンジニアリング(株)	3名	中部電力(株)	12名
	ジャトコ(株)	3名	(株)豊田自動織機	12名
	大成建設(株)	3名	三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)	10名
	(株)フジタ	3名	ブラザー工業(株)	9名
	リンナイ(株)	3名	川崎重工業(株)	6名
	アイシン・コムクルーズ(株)	2名	(株)竹中工務店	6名
	旭化成ホームズ(株)	2名	(株)マキタ	6名
	小島プレス工業(株)	2名	(株)東海理化電機製作所	5名
	CKD(株)	2名	東邦ガス(株)	5名
	ジェイアール東海コンサルタンツ(株)	2名	三菱自動車工業(株)	5名
	清水建設(株)	2名	リンナイ(株)	5名
	住友林業(株)	2名	(株)アドヴィックス	4名
	(株)竹中工務店	2名	NTN(株)	4名
	ダイコク電機(株)	2名	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	4名
	中部電力(株)	2名	新日鐵住金(株)	4名
	(株)デンソー	2名	(株)トヨタコミュニケーションシステム	4名
	(株)東海理化電機製作所	2名	(株)日立製作所	4名
	トヨタ自動車(株)	2名	本田技研工業(株)	4名
	豊田合成(株)	2名	三菱電機(株)	4名
	日本特殊陶業(株)	2名	(株)LIXIL	4名
	本田技研工業(株)	2名	(株)NTT ドコモ	3名
	ヤマハ発動機(株)	2名	(株)大林組	3名
(株)LIXIL	2名	花王(株)	3名	
非営利公法人庁	名古屋市	8名	名古屋市	3名
	愛知県	4名	愛知県	2名
	東京都	2名	国土交通省	2名
	岡崎市	1名	(公)あいち産業振興機構	1名
	京都府	1名	赤磐市	1名
	岐阜県	1名	(独)宇宙航空研究開発機構	1名
	国土交通省	1名	岡崎市	1名
	東海財務局	1名	各務原市	1名
	特許庁	1名	岐阜県	1名
	宮城県	1名	経済産業省中部経済産業局	1名
			国立研究開発法人港湾空港技術研究所	1名
			(独)産業技術総合研究所	1名
			滋賀県	1名
		大学共同利用機関法人統計数理研究所	1名	
		東京都	1名	
		鳥取県	1名	
		富山県	1名	
		(独)日本貿易振興機構	1名	
		福岡県	1名	
		三重県	1名	

※同人数の就職先は五十音順とする。官公庁は、教育機関を除く。

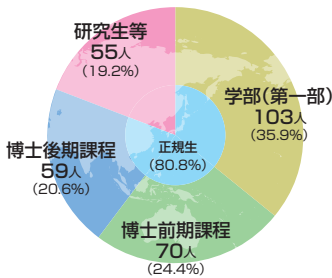
外国人留学生は287人 27カ国53大学等と交流協定締結

名古屋工業大学で学ぶ留学生は、世界27の国と地域からの287人です。うち90.6%に当たる260人がアジア地域からの留学生です。中でも中国からの留学生が一番多く、137人を数えます。

◆留学生の国別割合



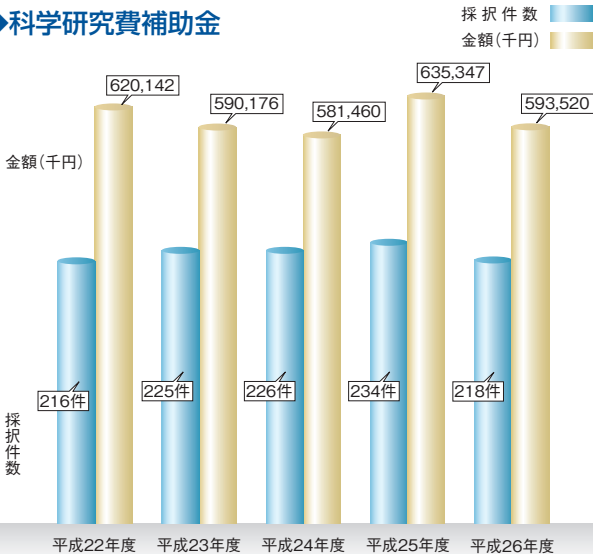
◆留学生の区分別割合



採択件数218件 5億9,352万円

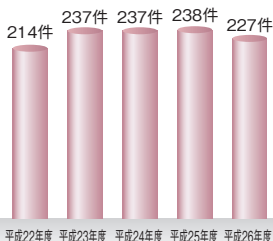
科学研究費助成事業は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする研究助成費であり、大学等の学術研究を推進し、我が国の基盤研究を形成するための重要な経費です。

◆科学研究費補助金

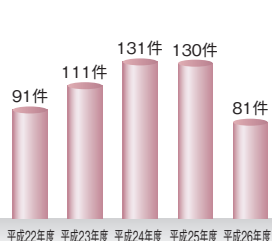


多くの共同研究・受託研究を実施

◆共同研究



◆受託研究



「共同研究」とは、企業等から研究者と研究経費を受け入れて、本学の教員と共通の課題について共同で行う研究です。

「受託研究」とは、学外機関等からの委託を受けて大学として行う研究で、これに要する経費を委託者が負担するものです。

◆知的財産収入

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特許権等	13,095	8,166	16,398	10,263	17,014
著作権	200	0	0	158	661
ノウハウ	46,077	62,757	878	106	3,176
有体物	621	3,010	4,962	4,550	11,240
合計	59,993	73,933	22,238	15,077	32,091

金額（千円）

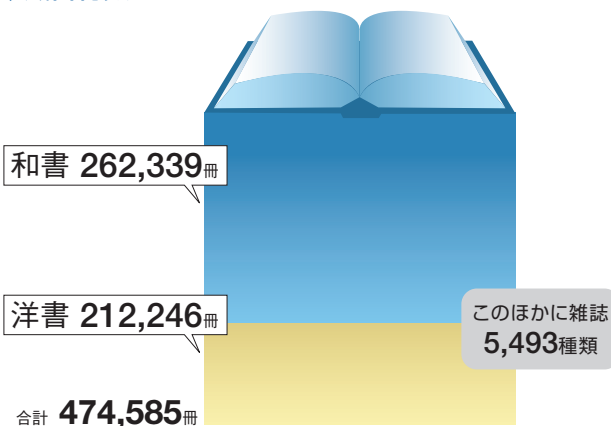
プロジェクト研究所は、学際プロジェクトや産学官連携に資する研究を推進するもので、事業に要する経費は、各年度2,000万円以上の外部資金をもって充て、設置期間は3年以上5年以下とすることを設置の条件としています。平成27年4月現在設置されている研究所の名称、研究代表者（プロジェクト研究所長）は以下のとおりです。

研究所の名称	研究代表者 (研究所長)
日本ガイシ イノベーション研究所	森 秀樹
藤本技術総合研究所	山下 啓司
国際音声技術研究所	徳田 恵一
エネルギー触媒開発研究所	小澤 智宏
次世代自動車駆動用先進モーター開発プロジェクト研究所	小坂 卓
名工大スマートマテリアル創成研究所	日原 岳彦
機能材料研究所	渡辺 義見
粉体科学研究所	藤 正督
窒化ガリウムパワーデバイス研究所	江川 孝志
未来医療介護健康情報学研究所	岩田 彰
ビアメカニクスモーションシステム研究所	岩崎 誠
先端研究基盤共用促進研究所	種村 眞幸
生体・電磁環境研究所	王 建青
次世代耐震工学研究所	小畑 誠

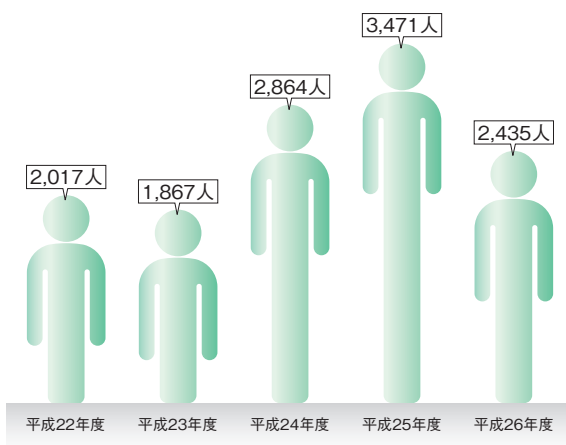
※設置順

蔵書数は約47万4千冊

◆蔵書総数



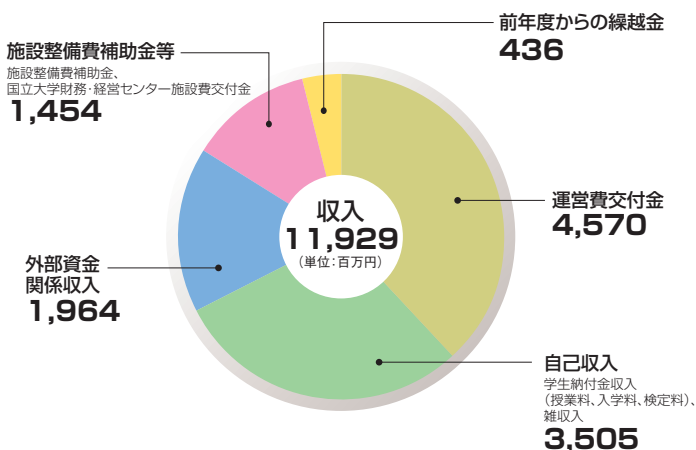
◆学外利用者数



- 名古屋工業大学附属図書館の蔵書は、和書約26万2千冊、洋書約21万2千冊、合わせて約47万4千冊にのぼっています。
- 市民への開放も積極的に実施しています。またインターネットにより学外からも蔵書検索ができます。
- 「名古屋工業大学学術機関リポジトリ」から博士論文など本学で作成された学術論文をご覧いただけます。

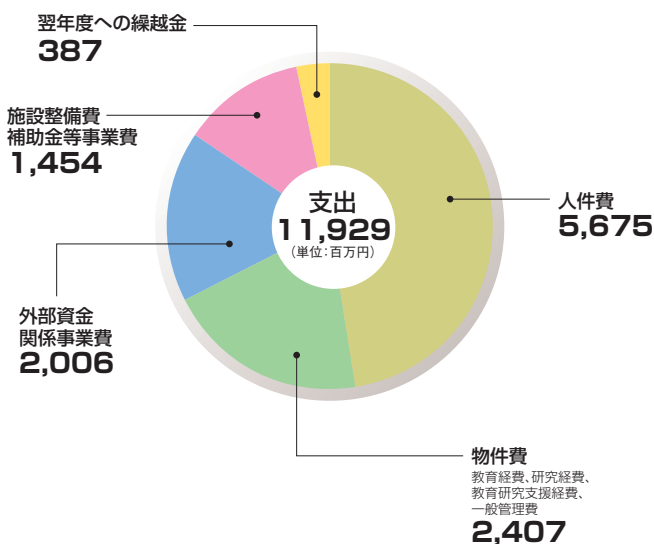
<http://www.lib.nitech.ac.jp>

平成26年度財政状況(百万円未満四捨五入)



注1: 外部資金関係収入については、〈外部資金関係内訳〉を参照。

注2: 前年度からの繰越金については、平成26年度支出分のみを記載。



◆外部資金関係内訳

(単位:百万円)

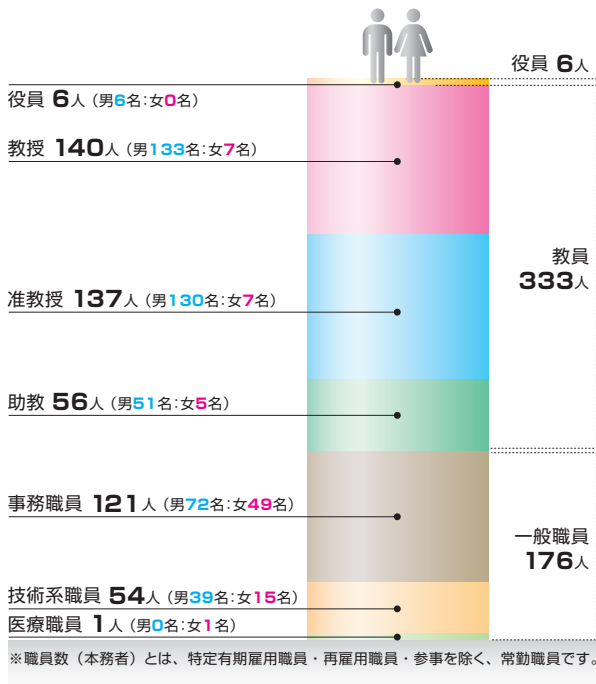
区 分	件 数	決 算 額
寄 附 金	664	220
受 託 研 究 費	81	415
共 同 研 究 費	227	657
受 託 事 業 費	3	8
共 同 事 業 費	1	1
科学技術人材育成費補助金	1	47
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	1	28
研究開発施設共用等促進費補助金	1	68
戦略的国際研究交流推進事業費補助金	1	17
設 備 整 備 費 補 助 金	1	84
ぞん技術革新センター運営協議会 共同研究助成事業助成金	1	5
研究拠点形成費等補助金	1	53
国立大学改革強化推進補助金	1	231
産学連携推進事業費補助金	1	12
間接経費(科学研究費補助金等)	241	118
計	1,226	1,964

(注) 寄附金の決算額には、未収収益等を含む。

515人のスタッフが大学を支えています

■大学は教育研究機関という性格上、多くのスタッフを抱えており、名古屋工業大学におけるスタッフの総数は515人です。そのうち、スタッフ(専任のみ)の64.7%が教員です。

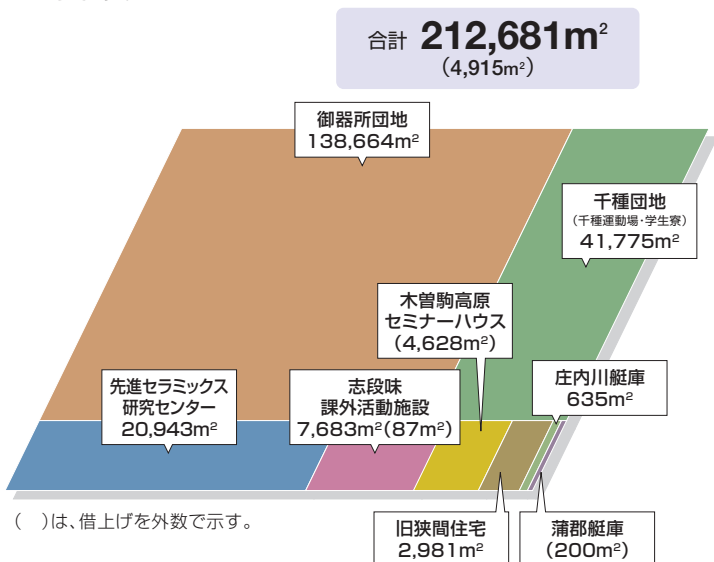
■教員のうち19人(5.7%)、一般職員のうち65人(36.9%)が女性で、全体の16.3%を占めています。



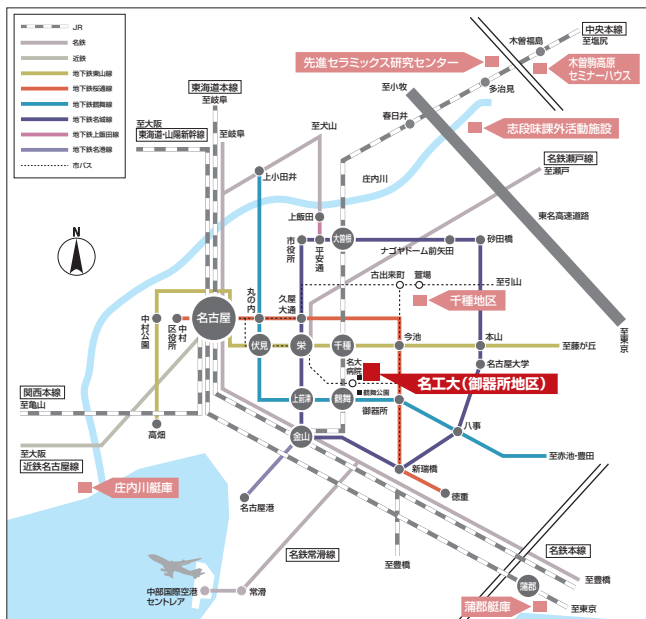
総面積は約21.2万㎡

■名古屋工業大学のキャンパス総面積は約21.2万㎡です。それ以外に4,915㎡を借上げています。

■敷地は、御器所団地(昭和区)と千種団地(千種区)に分かれており、庄内川艇庫(中川区)、志段味課外活動施設(守山区)などが名古屋市内にあります。また、先進セラミックス研究センターが岐阜県多治見市に、蒲郡艇庫が蒲郡市に、木曾駒高原セミナーハウスが長野県木曾郡木曾町にあります。



◆位置図



◆名古屋工業大学(御器所地区)への経路

J R	名古屋駅	約6分 (中央本線)	鶴舞駅下車名大病院口 東へ500m		
地下鉄	名古屋駅	約2分 (東山線)	伏見	約6分 (鶴舞線)	鶴舞駅下車4番出口 東へ500m
市バス	栄	約14分 (栄18番系統妙見町行き)	名大病院下車 東へ200m		

◆キャンパスマップ



名古屋工業大学憲章

基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。



ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。



ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創成し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。



未来づくり

名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

平成24年1月1日制定

- 1 沿革
- 2 組織
- 3 学生数
- 4 入学者出身高校所在地
- 5 入学状況
- 6 生涯学習
- 7 卒業後の進路
- 8 外国人留学生・国際交流
- 9 科学研究費助成事業
- 10 共同研究・受託研究
- 11 プロジェクト研究所
- 12 附属図書館
- 13 財政状況(見込)
- 14 役員・職員数
- 15 キャンパス面積
- 16 アクセス

■ 「変化する名工大」をテーマにビジュアル化しました。紙側は現在の体制である7学科8専攻を七角形の周りに八角形を配置することで表現し、PP 素材側は来年度の新体制である5学科6専攻を五角形の周りに六角形を配置し表現しました。名工大ブルーの濃淡で各学科・専攻の個性を表現し、新旧が重なった時に基本色に近づくことで伝統は続くことを表しています。

■ デザインを手がけたのは、プロジェクトチーム「NIT DESIGN PROJECT (NDP)」です。「NDP」は、学生が主体となり、大学グッズの企画・デザイン・プロモーションを行い、学生が自らの想いを形にし、「名古屋工業大学」のブランド価値及び知名度を上げることを目的としたプロジェクトです。

国立大学法人
名古屋工業大学 DATABOOK
平成27年7月発行

発行 | 名古屋工業大学
所在地 | 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL | 052-735-5000
URL | <http://www.nitech.ac.jp>
編集 | 名古屋工業大学企画広報課 広報室
表紙デザイン | NIT DESIGN PROJECT